

テ欠席裁判ヲ受ケタル時其被告人ニテ故障ヲ言コトナリ之ト違ヒ第五百八十條同五百八十一條ノ兩條中ニ分散ニ付故障ヲ述ルコトアリ」第五百八十條中ニ分散人抗傳シテ其分散公告云々八日內ニ故障ヲ述フルコトヲ得ヘク又ハ是等ノ言渡アル時ハ其分散ニ關係アル者ハ一月內ニ故障ヲ述フルコトヲ得ヘシトアリ
 此條ノ譯文ニ少シ違ヒアリ
 故ニ直譯ニ爲ス時ハ
 分散公告ノ申渡及ヒ拂方ヲ已メタル期限ヲ公告前ニ定メタル申渡ハ八日ノ間ニ分散人ヨリ故障ヲ述フルコトヲ得ヘク其他關係ノ者ヨリハ一月ノ間ニ故障ヲ述フルコトヲ得ヘシトノ意味ナリ
 故ニ「フスケ」ノ説ハ民事ノ故障ハ被告人ノ呼出ニ出席セスシテ欠席裁判ヲ受ケタル時ナリ然ルニ商法ニテ此條ニアルハ分散人ノ呼出ヲ受

ケス又ハ其關係アル者ノ呼出ヲ受ケサル時欠席裁判ニ爲リタルコトナリ之レハ何レモ故障ヲ述フルコトヲ得ヘキナリ
 故ニ分散人ハ呼出ヲ受ケテ抗傳シタルニアラサルトモ故障ヲ述フルヲ得ルハ商法而已特別ニ定メタル法ナリ
 原書ニハ抗傳ト云字ナシ故ニ民事ハ欠席裁判ヲ受ケテ故障ヲ云フヘキナレトモ商法ニハ其欠席裁判ヲ受ケサルトモ其公告ヲ爲サレタル時ハ故障ヲ言ヒ得ヘキナリ
 即チ民事ノ故障ト商法ノ分散ノ時ノ故障ト違ヒアル所ナリ
 尙一ツ違ヒアリ
 民事ハ裁判言渡送達ノ日ヨリ八日ノ間ニ故障ヲ述フヘキナレトモ商法ハ其公告即チ張札ヲ爲シタル日ヨリ八日ノ間ニ故障ヲ述フヘキモノトス

即右第一ハ抗傳セサル者ニテ故障ヲ爲シ得ヘキノ違ヒナリ
 第二ハ故障ノ期限ノ起算ノ日ニ違ヒアリ
 期限ノ民事ト違ヒアルコトハ第五百八十條第二項ニアリ分散公告ノ
 時ハ裁判所へ張札ヲ爲シ及ヒ新聞紙ニテ廣告スヘキナリ
 裁判所トハ其公告ヲ爲シタル裁判所ヲ云フ
 新聞紙トハ其分散人ノ住居地ノ新聞紙ヲ云フ故ニ之ヲ公告ヲ爲シタ
 ル日ヨリ其期限ヲ起算スヘキナリ
 第五百八十條中ニ分散人ト其分散ニ關係スル者ハ八日中又ハ一月ノ
 間ニ故障ヲ言立テ得ルトアル故其以上ハ之ヲ言立ルヲ得ス
 第五百八十一條ニハ其證書ノ驗真ヲ爲シ及ヒ誓ヲ述フヘキ期限云々
 トアリ之ハ別ニ期限アル如ク見ユルナリ
 然シ各債主ヨリ此條ニアル如ク他ノ期日ニ定メントスル訴モ矢張一

月内ト爲スヘキナリ
 故ニ其一月内ヲ過クレハ其分散人ハ全ク拂方ヲ已タルモノト爲ルナ
 リ
 第五百八十一條ノ主意ハ第八十條ノ期限ヲ長ク爲ス爲メニアラス畢
 竟短ク爲ス爲メナリ
 故ニ第五百八十條コ一ケ月トアルヲ以テ已ニ驗真ハ過キタレヒ未タ
 一ケ月中ナリトシテ故障ヲ言得ヘキニアラス
 故ニ驗真ヲ早ク了レハ三十日ヲ待タサレヒ若シ驗真ノ延ヒタル時ハ
 三十日ヲ過クル能ハサルモノトス
 第五百八十一條ノ債主トハ通常金ヲ貸シタルモノヲ云フ
 第五百八十條ノ關係アル者トハ相續人又ハ贈遺ヲ受ケタル者等ノコ
 トヲ云フ

故障ヲ述フルコトハ已ニ了リタリ
 控訴ノコトハ第五百八十二條ニアリ
 同條中ニ其言渡ノ送達ヲ得タル時ヨリ十五日ナリトストアリ
 民事ニハ二ヶ月ナリ然シ商法ハ至急ヲ要スル故ニ十五日ト爲スナリ
 尤其外訴訟ノ次第ニ寄リ日ヲ延スコトアリ
 第一項ニ分散ノコトヲ記セリ其意味ヲ廣ク見ル可カラス
 其意味ハ分散ノ通常手續ヲ運フ爲メト云意味ナリ
 一体管財人ハ分散人ノ分散以前他へ貸シタル貸金ヲ受取り之ヲ處置
 スル手續等數多ノ細目アリト雖モ之等ノ細目ヲ云フニアラス只管財
 人ヲ定ムル等通常ノ手續ヲ運フ爲メニ爲スコトヲ云フ
 問 民事ニ付テハ一日ニ三「ミリヤメートル」トアル商法ニテ一日ニ五
 「ミリヤメートル」トアリ民事商事ヲ論セス凡一日ノ足度ニ仍ルヘキ筈

ナルニ之レヲ區別スルハ如何

答 訴訟法ノ千三十三條ヲ見ルヘシ矢張五「ミリヤメートル」トアリ

訴訟法モ以前ハ三「ミリヤメートル」ナレトモ今日ハ之ヲ五「ミリヤメー
 トル」ニ改メタルモノナリ

送達ヲ得タル時ヨリト譯文ニアレモ原書ニハ送達ヨリトアリ

故ニ其送達ノ日ハ算入セズ其翌日ヨリ起算スヘキナリ

問 訴訟法ノ第百七十五條ヲ見ルヘシ矢張三「ミリヤメートル」トアル
 之ハ使吏ノ行ク譯ケニ付違ヒアルコトナルヤ

訴訟法第千三十三條ニテ皆之ヲ五「ミリヤメートル」ト改正シタルモノ
 ナリ

千八百六十二年ノ法律ニテ極近來改正シタルモノナリ其近來改正シ
 タル法律中ニハ送達ノ日ヲ算入セサルコト又ハ呼出ノ日ヲ算入セサ

ルコト等ヲ細カコ示セリ

其法律ノ末ニ於テ民事商法ニモ總テ其距離ニ仍テ日ヲ定メルハ如此
爲スヘシトアリ

故ニ訴訟法ノ正文中ニモ三「ミリヤメートル」トアリシナレモ之ヲ一々
改正スルハ手数ナルニ仍リ末ノ一條ニテ總テ改正シタルモノナリ
控訴ノコトハ已ニ説タル如ク民法トハ少シ違ヒアリ上告ノコトハ分
散ニ付テモ別ニ異ナルコトナシ何故ナレハ此商法中ニ別ニ其規則ノ
明文ナキ故ナリ

第五百八十三條ニハ故障控訴ヲ爲スヲ得ス又大審院へ出ルコトヲ得
サルモノアリ
之レハ此條ヲ見テ辨知スヘシ
第五百八十三條ニ

第一項第二項ノ掛リ裁判官ノ命シ又家族ノ養育料ヲ渡スコト等ハ商
法裁判所ニ定メタル而已ニテ別ニ其曲直ヲ辨スヘキモノニアラス又
原告被告ノ損徳ニ關スヘキモノニアラス元來全ク曲直ヲ裁判スルコ
トニアラサル以上ハ上告等ヲ爲ス可カラサルトノ主意ナリ
尙チ一ツノ主意アリ即チ分散ノコトハ上告等ヲ容易ニ爲シ時日ヲ費
スヘキモノニアラス故ニ其落着ノ早キヲ要スル爲メナリ
以上分散ノ方法ヲ六款ニ分ケタルコトハ已ニ説キ了リタリ
以下會社ノ分散ノコトヲ説クヘシ
會社ハ分散ヲ爲スヲ得ヘシ會社ト雖トモ畢竟商人ノ要用ノコトヲ具
備シタルモノニテ即チ一人ノ商人ト見爲スヘキモノナリ故ニ分散ヲ
爲シ得ヘキナリ

商法中ニハ其確定ノ規則ナシト雖モ各條ヲ參照シテ之ヲ説クヘシ

先ッ第五百三十一條第四百三十八條第四百五十八條ノ三條中ニ會社
ノ分散ノ時ハ云々ト記セリ

然シ此三條中ニ記セルコトハ皆合名會社ノコトナリ
故ニ差金會社又ハ無名會社ハ分散ヲ爲スヲ得サルノ説アリ
之レハ分散ヲ爲トモ夫丈ノ便益ナシ

且無名會社ノ分散ノ時ハ社中一同ニテ算計方原語「リキタール」ヲ撰ミ
之レヲ任シテ各其金ヲ分配スル迄ノコトニ付分散ト爲スニ及ハス又
商法裁判所へ訴へ出ツルニ及ハス管財人ヲ立ルニ及ハストスル説アリ
然シ之ヲ分散ト爲ス時ハ矢張其財産モ多少アルヘキ譯ケニ付各其債
主ニテ之ヲ分配シテ受取ル様ニ爲スヘキナリ

且第四百三十五條ニ總テ商人タルモノハ分散ト爲スヘシトアリ故ニ
其意味ハ廣ク何レノ會社ニ拘ハラヌ分散ト爲スヲ得ルトノ説モアリ

無名會社ノ分散ト爲タルコト實際ニ於テ澤山アリタリ

然シ之レハ分散ト爲シタリトモ其甲斐ナシト爲スハ其算計方ヲ撰テ
各債主ハ相互ニ計算スル迄ナリト爲セリトノ説ナリ

其無名會社ハ別ニ「リキタール」撰ム以上ハ別ニ分散ト爲スニ及ハスト
云フ説ハ宜シカラス

何故ナレハ其各債主ハ各自分ノ札ヲ以テ差引ヲ爲スヘキ而已ナラス
又其他ノ者へ引合アルヘキニ付分散ヲ爲シ得ヘキナリ

故ニ會社ハ何レニモ總テ分散ヲ爲シ得ヘキモノトス

之レニ付注意スヘキコト二三條アリ

第一 會社ハ分散ト爲シ得ヘキコトナリ

然シ直チニ其會社潰レタルニアラス分散公告後「コンコルター」ヲ爲シ
タル時ハ其會社ハ未タ潰レサルナリ

然シ之ヲ爲サ、ル時ハ即チ其會社ハナキモノト爲ルナリ

第二 合名會社ノ分散ノ時ハ必ス其社員ハ皆分散スヘキナリ何故ナレハ無限ニ保證人ト爲スヘキモノナレハナリ

其内ニ一人ニテモ分散セサル時ハ其會社ハ存スルモノトス

無名會社ハ其社員ハ只其差金丈ケノ損ニテ自分ノ家産ハ各之ヲ所持スルモノナリ故ニ社員ハ分散セサルナリ

合名會社ノ分散ニテ社員モ分散スル時ハ債主ヲ二ツニ分ツヘシ即社中ノ借金ト各社員ノ借金トナリ

社中ニ借シタル金ハ其社ニアル金ヲ取り夫ニテ尙不足ノ時ハ社員一己ニ對シ其金ヲ取ルヘキナリ

然シ社員ニテ社用ニアラス自分ノ爲メニ借リタル時ハ其債主ヨリ社中ニ取リニ行クヲ得ス各社員ノ一己ニ對シ取ルヘキモノトス

故ニ合名會社ノ時ハ身代限リヲ二ツ爲ス譯ナリ

例ヘハ社員ヨリ米薪又ハ呉服屋ノ拂ヒヲ爲サ、ル時ハ之ヲ會社ニ對シテ求ムル能ハサルナリ

又社中ニ貸シタル者ハ社員ノ家ニ對シ直チニ求メ得ヘキナリ

故ニ會社ニノ貸シタル金ハ會社ノ分配ヲ受ケ又其社員ノ分配ヲモ受クヘキナリ

問 合名會社ノ社名ヲ以テ貸シタル時ハ假令社員一人ハ大金ヲ貸シタリトモ其一人ニテ不拂時ハ會社ニ掛リ求メ得ヘキヤ

答 社員ノ自分ニテ契約シタル金ヲ會社ニ對シ求ムルコトヲ得ス會社ノ名目ニテ借リタル時ハ素ヨリ之ヲ求メ得ヘシト雖モ社員一人ニ

テ薪米ヲ買ヒタル時ハ是レヲ會社ニ求ムルヲ得サルナリ

問 例ヘハ社員ノ内一旦身代限ヲ爲シタルモノニテモ以前其社員中

會社エ出金シタレハ其當然ノ利足ハ受取ルヲ得ヘキモノナラシ然ラ
ハ其受取ヘキモノヲ他ノ債主ニテ其社員ニ代リ會社ヘ掛リ求メ得ヘ
キヤ

答 之レハ求メ得ヘシ例ヘハ米代ナレハ其代ヲ會社エ求ムル能ハス
ナレモ民法債主ニテ負債主ニ代リ受取コトアリ
之レハ民法第千百六十六條ニアリ

合名會社ノ分散ノ時ハ會社ノ財産ノ幾部分カアリ又債主ノ財産モ幾
部分カアリ

然シ其會社ノ「コンコルター」ニ決スル時ハ會社エ金ヲ貸シタル債主而
已ナリ

其債主ハ甲乙丙丁等何レモ其金ヲ求メ得ヘキナリ
合名會社ニテ數人ノ社員ノ内一人ハ「コンコルター」ト爲リ他ノ者ハ「コ

ンコルター」ト爲ラサル事アリ

之レハ債主ニテ其一人ヲ信用シテ他ノ者ヲ信用セサル時ナリ

第五百三十一條ニアリ例ヘハ丙者一人ノ「コンコルター」ト決シタル時

ハ其丙者ハ其會社ニ属シタル義務ハ總テ免ルヘキナリ

之レハ會社ノ債主モ一同ニ協議シテ決シタルモノナレハナリ

且ツ「コンコルター」ヲ爲サ、ル上尙會社ノ義務ヲ存シタル時ハ「コンコ
ルター」ヲ爲サ、ルモ同様ナレハナリ

若シ其義務ヲ存スレハ自分ノ「コンコルター」ヲ爲シタル後ニテモ會社
ノ潰レントスル時ニ至レハ又其會社ノ爲メニ金ヲ出サ、ルヲ得サル
譯ニテ之レハ到底行ナハレサルコトナリ

二一八 第五百八十四條

倒産ハ分散ノ種類中ノモノナリ

倒産ハ分散ノ種類中ナレトモ別ニ仔細アリタル分散人ノ所行ニヨリ遂ニ債主ノ損害ヲ生シタル時ノコトナリ

即チ分散人ニテ己レノ有金ヲ費耗シ遂ニ債主ノ抵當ト爲ルモノヲ減損シタルモノナリ之レハ全ク分散人ノ所行ノ宜シカラサル譯ナリ之レニ二ツノ原因アリ

一ツハ全ク故ラニ爲シタルニアラス過誤ヨリ生スルモノナリ

一ツハ詐僞ヲ以テ之レヲ謀リ爲シタルモノナリ

其過誤ニテ債主ノ害ヲ生シタル時ハ之レヲ通常ノ倒産ト云フ

詐僞ヲ以テ故ラニ之ヲ謀リ債主ノ害ヲ爲シタルモノハ詐僞ノ倒産ト云フ

詐僞ノ倒産モ通常ノ倒産モ二ツトモ犯罪ト爲スヘキモノナリ
通常ノ倒産ハ輕罪ニテ詐僞ノ倒産ハ重罪ナリ二ツトモ刑法中ニ定メ
アリ

倒産ト爲ルニハ必ラス其以前分散公告ヲ爲スヘキナリ

故ニ其公告以前ニ倒産ト爲ルコトナシ

分散ヲ公告スルハ商法裁判所ノ權限ニ付之レテ公告シタル後ハ即チ

倒産ト爲ルコトアリ

負債主ヨリ分散ト爲ルヘキコトヲ言立テス又ハ債主モ之レヲ言立テ

サル時ハ檢事ヨリ之レヲ見付テ商法裁判所へ通知スヘキナリ然ル時

ハ別ニ原告人ナシ商法裁判所ヨリ其分散ト爲スヘキヲ極メタル上倒

産ト爲スコトアリ

三一八 倒産ニ二ツノ種類アリ故ニ商法ニ第一章第二章ハ二ツニ分テアリ

第三章ニ至リテハ倒産人ニアラサル他ノ者ニテ惡事ヲ爲スコトナリ
之ニモ倒産人同様ノ罪ヲ當ルヘキナリ

第四章ハ倒産ノ場合ニ於テ財産ノ始末柄ヲ極メルコトナリ

第五百八十五條ト第五百八十二條トニ掲ケタルモノ、性質ニハ大ニ
違ヒアリ

第五百八十五條ニハ其事柄アリタル時必ラス倒産ノ言渡ヲ受クヘシ
トノ主意ナリ

故ニ之ハ裁判所ニテ必ラス倒産人タルコトヲ言渡スヘキヲ以テ義務
ト爲スヘキモノナリ

第五百八十六條ニハ其時ノ模様アリタル時ハ倒産ノ言渡ヲ受クルコ
トアリトノ主意ナリ

故ニ之レハ裁判所ニテ其倒産タルコトヲ言渡ストモ又言渡サストモ

自由ナリ

其違ヒアルハ即チ事柄ト性質ノ違ヒアル故ナリ

第五百八十五條ニ掲ケタル事柄ハ其性質如何トナレハ之ハ分散人ノ
己レノ過誤ニテ爲シタルコトナレトモ畢竟其斯ノ如ク爲ス時ハ債主ノ
害トナルヘキコトヲ知リツ、爲シタルコト、見做サ、ルヲ得ス故ニ
假令ヒ其債主ノ害ト爲ルヘキコトヲ眞ニ知ラサルトモ全ク倒産ナリ
ト極メタルモノナリ

畢竟債主ハ其害ヲ爲スヘキコトヲ分散人ニテ知リツ、爲シタルコト
、見做ス故ナリ

第五百八十六條ハ分散人ヨリ法律上ニ對シテ過誤ヲ爲シタルコトニ
テ之レヲ爲ス時ハ債主コト何程ノ害ヲ受クヘキコトヲ知ラスシテ爲
シタルコトナリ故ニ第五百八十六條ハ第五百八十五條ヨリ大ニ輕キ

處アリ

此二條ニ記シタル事柄ハ一々其説明ヲ爲サ、ルトモ自ラ了解アルヘキニ付之レテ説サルナリ

故ニ先ツ其倒産ト爲ル時ハ何レノ裁判所ニテ如何ナル刑ニ處スヘキカテ説カントス

問 第五百八十五條ノ第二項ニ冒險ノ所爲アリ之ハ彌是レ丈ケノ事ヲ爲シ之レ丈ケノ損失ヲ爲スコトノ十ニ八九知レタル米相場ノ如キモノニ拘リタル時ハ必ス倒産ト爲スヘキカ又ハ其内眞ニ山ノ仕方ニ仍リ倒産ト爲スヘキカ此相場ト云フ内ニハ山ニ掛リタルコト、掛ラサルコト、ノ區別アリヤ

答 山ノ所爲ニ仍ルト云フハ即倒産ト爲ルヘキ性質ノ所爲ヲ云フ例ヘハ國債證書ノ相場ヲ立ツル等ハ何レモ罪ナシ山ノ所爲ト云フハ拵

〇＝

ラヘコト、カ又ハ偶然ノ機會ニテ相場ニ勝タントスル等ノコトナリ之レハ其直チニ賣買スルニアラス其期限前ニ之レヲ買ヒ其間ヒ金ヲ利スル等ノコトヲ總テ山ノ所爲ト爲ス

尤モ其期限ニ至リ眞ニ賣買スル者ハ山ノ所爲トハ爲サス

問 然ラハ其證據ヲ見ルニハ其相場ヲ何月日ニ買フヘシト爲シ其備金ヲ爲シタル時ハ山ノ所爲ニアラス若シ其期限ニ買ヒ得サル而已ナラス備金モナキ時ハ之レヲ山ノ所爲ト爲スヘキヤ

答 然リ其説ノ如シ何レ期限ヲ立テ、取引ヲ爲シタル内其品物ヲ直チニ引取ルヘキ身代ノ者又ハ直チニ引渡スヘキ身代ノ者ハ山ノ所爲トナサス

問 其正米ヲ有シタル身代カ又ハ其正米ヲ買ヒ引渡スヘキ正金ヲ有スル身代ナレハ可ナリヤ

答 其正米ヲ有セサルトモ可ナリ百石チ一萬圓ニ賣リタル者ニテ萬圓ヲ有スル者ハ可ナリ

問 冒險ト云フ字ハ如何之レハ裁判ヲ爲シ難シ

之レハ風雨大難風ヲ犯シ一利益ヲ得ント爲シタルコトナリヤ又ハ兩國戰爭中ヲ犯シ一利益ヲ得ン爲メ豫メ目的ノ確定シタルコトナリヤ

答 國債證券ノ相場ヲ立ツルニ冒險ノ所爲又ハ危遇云々トアリ

之レハ即チ偶然ノ利益ヲ得ンカ爲メニ其相場ヲ爲スコトナリ

冒險ノ所爲ト云フハ全ク先キノ見ヘサルコトナリ例ヘハ無盡又ハ富

チ爲ス等ノコトヲ云ナリ又例ヘハ明日ノ天氣ノ晴雨ヲ賭ケニ爲ス如

キモノナリ

問 之レチ日本ニテ論スレハ相場ヲ爲ス商人ハ皆ナ山ノ所爲ナラサルナシ

一体分散ノ時ハ管財人ニテ之レチ訴ヘ然ル後警察官ニテ訴フルトア

リ然ルニ第五百八十八條ニ仍レハ倒産ヲ司法警察官ノ訴フルハ必ス

管財人ノ訴ニ仍ルヘキカ又ハ司法警察官ヨリ全國ノコトヲ見テ之チ

訴フヘキカ分明ナラス若シ司法警察官ヨリ之チ訴フヘキコト、爲セ

ハ日本ニテ之レチ用ヒントスルトモ到底行ハレ難キコトアラントス

答 然ラハ警察官ヨリ訴フル手續ヲ説カントス

債主ヨリ言立テサル時ハ檢事ヨリ訴フヘキナリ

又其管財人ニテ目錄ヲ出シタル時ハ素ヨリ若シ他ニ訴ヘル者ナキ時

ハ檢事ヨリ訴ヘルナリ

問 之レハ債主ヲ保護スル律ナリヤ

答 債主ヲ保護スルノ主意而已ナラス其罪ヲ犯シタルモノニ付檢事

ヨリ求刑スヘキノ道理アリ

問 倒産ノ字義ハ他ノ者ヨリ之レヲ倒スト云フ字義ナルヤ
答 原語ノ字義ハ倒産ノ字ニ合ハス此字義ハ事柄ノミニ付テ云ヒタ
ルモノナリ「バンク」「ルート」ノ二語ナリ

「イタリヤ」コテ「バンク」「ルート」ト云フ

「バンク」ハ腰掛ケナリ

相場會社ノ如キ所コテハ商人ノ出席スル所ヲ「バンク」ト云フ

故ニ若シ倒産ヲ爲ス時ハ其相場會社へ出ル能ハス其時ハ其商人ノ「バ

ンク」ヲ破摧スル譯ナリ「ルート」トハ破摧スルコトニテ他ノ商人同志ニ

テ其人ノ腰掛ヲ破摧スルコトヲ云フナリ

之レハ「イタリヤ」ヨリ來タリタル語ニテ英國ニテモ矢張此語ヲ用ユル

ナリ然シ廣ク分散ノコトニ用ユルモノナリ

佛國ニテハ分散中ノ一種罪アルモノニ用ユルナリ

之レヲ廣ク分散ニ用ユルハ英國ノ用ヒ方ヲ可ナリトス

倒産ヲ言渡スニハ裁判所ハ懲治裁判所ヨリ言渡スナリ之レハ輕罪ナ

レハナリ

倒産人ハ如何ナル刑ヲ用ユルカハ刑法ノ第四百二條ニアリ同條ニハ

十ヶ月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル刑ナリ

第四百三條ノ末項ニハ事柄ノ模様ニ仍リ倒産ト爲スコトナリ此刑ハ

六日ノ禁錮迄ニ減スルコトアリ

倒産ヲ訴へ出スコトヲ説クヘシ

第五百八十四條ニアリ

先ツ管財人檢事又ハ各債主ヨリ言立へキナリ債主トハ通常ノ債主ニ

テ「イポテキー」ナキモノヲモ總テ云フナリ

若シ債主ヨリ言立テ倒産ニ爲ラサル時ハ其訴訟入費ハ其言立タル者

ヨリ拂フヘキナリ
之レハ素ヨリ刑事ニアラス民事ナル故ニ其事實ナキ時ハ原告人ヨリ
拂フヘキナリ

然シ檢事ヨリ言立テ裁判所ノ裁判ニテ倒産トナラサル時ハ其入費ハ
假リニ政府ノ會計ヨリ拂ヒ置キ終ニハ倒産ト疑レタル者ヨリ拂フヘ
キナリ

第五百八十七條ニ檢事ヨリ訴テ爲シタル時ハ債主一般ヨリ其訴ヘ入
費ヲ出スヘキコト、ハ爲サ、ルナリ

之レハ政府ヨリ假リニ拂置キ分散人ノ身代ヲ持直シタル時ハ其被告
人ヨリ出スヘキコトニ爲セリ

債主ヨリ言立テ倒産ニ爲ラサル時ハ債主ヨリ之レヲ拂フヘシ

管財人ノ時ハ之ヲ管財人ニテ拂フナレトモ詰リ債主一同ヨリ托シタ

ル管財人ナレハ即債主ヨリ拂フヘキモノト見爲スナリ

問 第五百八十六條ノ第一項他人ノ算計トハ甲ヨリ家作ヲ引當テニ
取り又乙丙ヘ引當ト爲シ負ヒタル金高ノ差引シテ其算計ノ立サルコ
トナリヤ此一体ノ意味不分明ナリ

答 他人ノ算計ノ爲メニ其義務ヲ分散人ニテ負フト云意味ナリ

例ヘハ鶴田ノ爲メニ黒川ニテ岡内ヨリ義務ヲ負ヒタルコトナリ

例ヘハ爲替手形ニテ玉乃持主岡内差立人黒川ハ差サレ人其時ハ岡内
ヨリ預ケ金ナシト雖モ玉乃ニ對シ岡内ノ爲メニ黒川ニテ其義務ヲ負
ヒタルモノト爲ス時ヲ云フナリ

素ヨリ他人ノ爲メ義務ヲ負フハ禁制ニアラス故ニ自分ノ家産丈ケナ
レモ其モノヲ以テ其義務ヲ負ヒタルモノナリトス

以下詐偽ノ倒産ヲ説クヘシ

詐僞ノ倒産ハ通常ノ倒産ト違ヒ過誤ヨリ生シタルモノニアラス法律ニ背キテ必ラス債主ヲ詐リ己レノ利徳ト爲スコトナリ如何ナル時トナレハ即チ第五百九十一條ニアル如ク即チ其簿冊ヲ匿シ云々又ハ己レノ負ハサル義務ヲ負ヒタリト記シタル等ノ時ヲ云ナリ

己レノ負ハサル義務トハ公ケノ證書又ハ私ノ證書ヲ作り之ヲ以テ僞リノ債主へ與へ置クコトナリ

分散人己レ眞ノ負債ニアラサル借金ヲ書出ス等ハ何レモ分散後自分ニテ其金高ヲ持去ラントスル惡意ナリトス

例へハ分散ノ時何某ニ借金アル等ノコトヲ簿冊へ書加へタル通常ノ倒産ト違ヒ大ニ重ク罰スヘキモノト爲スナリ

詐僞ノ倒産人ノ惡意タルコトハ何人ニテモ了知シ易シ第一簿冊ヲ隠

スコトアリ然レハ其分散人ノ身代ノ明了ニ分ルコトナシ

第二 財産ノ幾部分カチ他人ニ預クル等ノコトヲ爲スコトアリ之レ全ク身代ヲ隠ス爲メナリ

又他人ニ公ケノ證書又ハ私ノ證書ヲ書キ與へタル時ハ其債主連結ノ時ニ當テ僞リノ債主モ同シク出テ來リテ其分散人ノ金ヲ請取ラントスル等ノコトアリ之レ全ク分散人トノ詐僞ニテ當然可拂債主ヲ害スルモノト爲スナリ

詐僞ノ倒産ハ重罪ノ部類ニ入ル故ニ其僞リノ債主タルコトノ連結ノ日ニ露顯シタル時ハ刑法ノ第二條ニアル重罪ノ「タルタチ」ト爲スアリ

重罪ハ現ニ其罪ヲ犯サ、ルトモ本罪ト同様ニ爲スヘキモノナリ尤輕罪ハ之ニ異ナリ

故ニ詐偽ノ倒産ノ「クンタチーフ」ハ刑法第二條ニ仍ルヘキモノナリ
 簿冊ニ匿シタルコト又ハ偽リノ證書ヲ書キタルコトヲ他人ニ見付ラ
 レ中止シタル時ハ重罪ト爲スニ付之レテ本罪ト同様ニ見爲スヘキナ
 リ
 詐偽ノ倒産ノ刑ニ處スルコトヲ説クヘシ
 其刑ハ刑法第四百二條ノ第一項ニ有期ノ徒刑トアリ之レハ一月ヨリ
 少カラス二年ヨリ多カラサルナリ然シ其景況ニ寄り減等スルコトア
 リ
 刑法第四百六十三條ニ其有期ノ刑ヲ減等シテ禁錮ト爲スコトアリ
 以上ノ刑ハ分散人ニテ倒産ト爲リタルモノ、刑ナリ「アジャンドシヤ
 ソジュ」ブルス即世話人ハ倒産ノ本人ト違ヒ刑法四百四條ニ別ニ刑ヲ
 設ケタリ

賣買世話人ニテ倒産人ノ財産賣買ヲ爲スコトヲ禁セリ故ニ若シ之レ
 ヲ賣買シタル時ハ通常ノ倒産ナレハ有期徒刑ナリ
 詐偽ノ倒産ナレハ無期ノ徒刑ト爲ス
 世話人ニテ賣買スル時ハ其詐偽ヲ爲シ易キニ付之レテ嚴ニ禁シタル
 モノナレハナリ
 且此世話人ハ商人ニアラス一種ノ役人ナレハナリ
 有期ノ徒刑ニテモ無期ノ徒刑ニテモ之レヲ受ケタルモノハ治産ノ禁
 ヲ受クヘキナリ
 之レハ己レ自ラ民權ヲ行フ能ハス例ヘハ自分ニテ訴訟ヲ爲ス能ハサ
 ル等ノコトナリ
 治産ノ禁ハ其言渡サレタル刑ヲ了レハ直ニ消ユルナリ
 詐偽ノ倒産ニ付テハ「コンコルダ」ナシ其「コンコルダ」ノ濟ミタル時

ニ於テ倒産ト爲リタル時ハ始メニ爲シタル「コンコルダ」ハ消ユルナ
リ
問 「コンコルダ」ト爲スヘカラサルハ詐僞ノ倒産ニ限ルヘキカ又ハ
通常倒産ニテモ爲スヘカラサルカ
答 通常ノ倒産ニテハ「コンコルダ」ヲ爲シ得ヘキナリ之ハ即チ第五
百八十七條ニアリ之レハ刑ヲ受クルト雖モ暫時ノ事ナリ故ニ「コンコ
ルダ」ヲ爲スヘキナリ

第六十號 明治九年二月廿二日

前會ニハ如何ナルコトヲ以テ詐僞ノ倒産ト爲スヘキヤヲ説キタリ
今日ハ其詐僞ノ倒産ハ何人ヨリ訴ヘキヤノコトヲ説クヘシ
詐僞ノ倒産ハ檢事ヨリ訴ヘキコトニテ其他之レヲ訴フルモノナシト

ス

檢事ヨリ訴ルニハ重罪裁判所ヘ訴ヘ可ナリ
詐僞ノ倒産ハ重罪ニ處ス可キモノニ付即チ重罪裁判所ニ訴ヘキモノ
トス

檢事ノ之ヲ見出スハ管財人ヨリ言立ツルコトアリ又其他總テノ債主
ヨリ之ヲ言立ルコトナリ
第四百五十九條第四百八十二條ノ如ク分散ノ時ハ管財人ヨリ其調書
ヲ出スナリ其時詐僞ノモノアレハ之ヲ言立可キナリ
故ニ之ヲ以テ檢事ハ其詐僞タルコトヲ知リテ訴ルナリ
檢事ヨリ重罪裁判所ヘ訴ヘタル時ハ陪審アルニ付其分散人ニテ財産
ヲ如何爲シタルヤノコトヲ陪審ニテ取調フヘキナリ
通常ハ何人ノ強盜又ハ竊盜ヲ爲シタルヤ否ノコトハ陪審ノ意見ニテ

極ムルコトナリ

然シ倒産ノ時ハ詐僞ノ倒産ナルヤ否ヤヲ陪審ノ意見ニテ極ムルヲ得
ス故ニ第五百九十一條ノコトヲ舉テ陪審ノ意見ヲ尋ルナリ

即チ財産ノ一部ヲ隠シタリトカ又ハ他ニナキ負債ヲ詐僞シタル等ノ
コトヲ舉ケテ之ヲ尋ヌルコトナリ其時ハ陪審ヨリ其事柄ノ有無ヲ取
調ヘタル上其答ヲ爲ス可キナリ

第三章ニハ分散人ニアラサル者ニテ分散ノ事ニ付罪ヲ犯シタル時ハ
其罪ヲ罰スヘキコトヲ定メタリ

分散人ニアラサル者ニテ之ニ關係シ其詐僞ヲ爲シタルコトニテ即
チ妻子又ハ管財人其他ノ者ニテ其分散人ノ爲メニ詐僞ヲ爲シタル時
ノ處置ヲ定タルモノナリ

分散人ニアラサル者ニテ其罪ト爲スヘキコトヲ設ケ置タル内ニ如何

ナル處置ヲ爲スヘキヤトナレハ

第一ハ詐僞ノ倒産人ノ附従ト爲スヘキ者ナリ

其附従ト爲スヘキ者トハ即チ分散人ノ財産ヲ隠ストカ又其僞リノ證
書ヲ作ル時ニ當リ之ヲ助ケタル者ナリ

即刑法第六十條ニアル如ク其本犯ト同様ニ罰スヘキモノヲ云フ

倒産人ノ附従ト爲スヘキコトニ付テハ商法中ニ明文ノ説明ナシ
然シ之レハ別ニ説クニ不及何故ナレハ刑法ノ第六十條ニ仍テ處スヘ
キモノナレハナリ

第二ハ第五百九十三條ニ附従ニ似タル者アリ之レハ附従ニハアラサ
レト粗似タルモノナリ

附従ト爲スヘキ者トハ共ニ其事ヲ謀タルモノナリ

第五百九十三條ノ者ハ其倒産人ノ受クヘキ刑ニ處セラレヘシトアリ

之レハ假令共ニ謀ラサルトモ分散人ノ爲メニ成ル様ニ爲シタルモノナリ

其分散人ト共ニ謀リタルヤ否ハ分ラサルモノナリ

此第五百九十三條ノ第一項ニ格別トハ即此場合ト違ヒ別段ナリト云

フコトナリ故ニ其刑法ニ仍ラス本條ニ仍ルヘシト云フ意味ナリ

第二項ハ分散人ノ負債ノ證書ヲ驗真スル時偽リノ債主ノ名ヲ言立之

ナ其相違ナシト誓ヒタル者ナリ

其時ハ假令債主ニテモ分散人ノ爲メ又ハ己レノ爲メニ別ニ偽リノ負債ヲ言立欺キタル時ハ矢張倒産ノ罪ヲ以テ罰ス可キナリ

第三項ハ他人ノ名ヲ以テ商法ヲ爲ス者アリ之レハ己レノ名ヲ出サスシ

テ商法ヲ爲ストモ其實ハ己レノ商法ナリ然ルニ其表向ノ名ノ商法ニ

テ分散シタル時ハ其實ノ名ヲ隠シタル本人ハ倒産ノ罪ト爲リ又其各

○ホ

ヲ貸シタル名前人モ同様倒産ノ罪ヲ受ク可キナリ

詐偽ノ倒産ノ罪ヲ受ク可キモノハ先ツ右ノ如シ

又分散人ノ配偶者相續人又ハ子孫等ニテ其倒産ヲ隠シタル時ハ第五

百九十四條ニアル如ク盜罪ノ刑ニ處スヘキナリ其盜罪ノ刑ハ刑法第

三百八十條ニアリ然シ之レハ分散人ト共ニ謀ラシテ爲シタル時ニ限

ルヘキナリ

若シ分散人ト共ニ謀リタル時ハ即チ刑法第四百三條ノ如ク分散人ノ

附從ト爲スヘキナリ

其本人ニ謀ラスシテ財産ヲ隠スハ分散人ノ子又ハ親ニテ之レヲ自分

ノモノト爲スカ又ハ分散ノ處置ノ濟タル後ニ之ヲ分散シタル本人へ

返ス積ナルヤ否ヤハ知ルヲ得サルモノナリ

此等ノコトハ即チ第五百九十四條中ニ入ルヘキ者ナリトス

刑法第三百八十條ニハ親屬ニテ互ニ其品物ヲ盜ミタル時ハ其親族即子ノ物ヲ親ニテ盜ミタル等ノコトハ其損失ノ償ヒ而已ニテ刑ニハ處セサルナリ

然シ商法ノ第五百九十四條ニテ竊盜ノ罪アリトスルハ刑法ト異ナリ何故ナレハ其親ニテ子ノ物ヲ盜ミタリトモ之レハ分散人ヨリ已債主ヘ渡シタルモノト見爲ス故ニ即他人ナル債主ノ品物ヲ盜ミタル譯ニ當ルノ理ナリ

故ニ第五百九十四條ニテ分散人ノ品物ヲ親族ニテ竊カニ取除ケ置クハ即チ盜罪ト爲スナリ

其盜罪ノ内ニハ色々ノ事柄ニ仍リ輕罪ニアラス重罪ト爲スコトアリ即チ楮子ヲ以テ人ノ屏牆ヲ乘リ越ヘルカ又ハ兵器ヲ用ヒタル等ニテ品物ヲ盜ミタル時ハ重罪ト爲ス之レハ刑法第三百八十五條第三百八十

六條ニアリ故ニ此刑法ノ主意ハ分散人ノ品物ヲ竊取シタル場合ニモ引當テ用ヒラルヘキモノナリ

又相續人其他親族ニアラサル者ニテ分散人ト通謀シ全ク同類ト爲リタル時ハ重罪裁判所ニテ裁判スヘキナリ

其時ハ刑ノ言渡ト償ヒノ言渡トノ二様ヲ言渡スヘキナリ

若シ其償ヒノ言渡シ而已ノ時ハ刑法ニアラサル故ニ其犯人ヲ放免スルコトナリ

故ニ必ス其刑ヲ受タルモノニアラサレハ其償ヲ求メ得サルニアラス

故ニ或ヒハ其倒産トナル事ヲ言立タリトモ之レヲ懲治裁判所又ハ重罪裁判所ニ於テ倒産ト爲サ、ルコトアリ

然シ其償ヒ而已ハ之ヲ言立得ヘキナリ

則第五百九十五條ニアリ

又管財人ニテ其分散ニ付惡事ヲ爲シタル時ハ罰スヘキナリ
之レハ刑法第四百六條ニアル如ク總テ他人ノ事ヲ取扱ヒ無益ニ費ス
等ニテ其信用ヲ失ヒタルモノナリ之レハ其最初信用ヲ受ケ托セラレ
タル其信用ニ乘シ偽リヲ爲ス時ハ二ヶ月ヨリ二年ノ禁錮其上罰金ヲ
科スヘキナリ

故ニ管財人ニテ人ノ財産ヲ取扱ヒ惡事ヲ爲ス時ハ即刑法第四百六條
ニ當テ、罰ス可キナリ

然シ同條ニテハ其主意ノ係ル所狹キナリ故ニ第五百九十六條ニ於テ
別ニ一條ヲ設ケ不正ノ所行ト云ヒ其主意ヲ廣メタルモノナリ

故ニ刑法第四百六條ノ主意ニ全ク當ルヘキ時ハ其刑法ヲ用ヒ若シ同
條ノ主意ニ當ラサル時ハ即第五百九十六條ニ仍テ處スヘキコト、爲
スナリ

管財人ノ不正ノ所爲トハ

例ヘハ管財人ニテ其分散人ノ子孫ノ爲メニ其財産ヲ隠シ置ク等ノ所
爲ヲ云ナレモ刑法ノ條ニハ全ク當ル所無キ故ニ此第五百九十六條ニ
基キ矢張刑法ニ引付ケテ處スヘキモノト爲ス又分散人債主ノ内ニテ
罪ヲ犯シタルモハ罰セラル可キナリ即第五百九十七條ニアリ

「コンコルター」ノ會議ノ時ニ於テ債主ト分散人ト密議ヲ爲シタルコトナ
リ之レハ重モコ其分散人ヨリ債主ニ頼ミタルコトナリ

之レハ其債主ニテ分散人ノ利益ニ爲ルコトヲ云ヒ後日其謝金ヲ取ラ
ント別段ノ契約ヲ爲シ其爲メニ債主ヨリ詐僞ノ說ヲ爲スコトナリ

之レハ「コンコルター」ノ時而已ナラス總テ分散ノ時ニ於テハ分散人ノ
爲メ又ハ其他ノ者ト斯ノ如キ契約ヲ爲スコトヲ禁セリ故ニ若シ之レ
ヲ爲シタル時ハ一ケ年ヨリ不多禁錮二千「フランク」ヨリ多カラサル罰

金ヲ出スヘキコト、爲スナリ
 債主ニテ自分一己ノ爲メ分散人ト契約ヲ爲シタルモノトハ例ヘハ主
 ヨリ分散公告ニ爲ラサル以前其分散人ノ家ヘ往キ是迄證書ナシニ貸
 シタル金ヘ其儘見捨ツヘキニ付證書アル分丈ケハ皆濟ニ爲スヘキ等
 ノコトヲ云ヒ其契約ヲ爲シタルコトナリ之レハ自分一人ノ爲メヲ計
 リタルモノニ付其儘ニ見放シ難ク矢張分散人同様ニ罰スヘキモノト
 爲ス

債主一人ノ爲メ別段利益ト爲ルヘキコトニテモ其分散人ノ拂方ヲ已
 メタルヲ眞ニ知レヌシテ爲シタル時ハ別ニ罪ナシ
 債主ハ多人數ノ内ニハ其拂方ヲ止メタルコトヲ皆一同ニ知ルヘキモ
 ノニアラサレハナリ
 故ニ其之ヲ知ラスシテ自分貸金ノ内ヲ片付ケン爲メ分散人ニ之ヲ頼

ムコトモアルヘキニ付其分散ニ爲ルコトヲ知ラサル時ハ犯罪ト爲サ
 ス

其外犯罪ト爲スコトハ總テ他ノ債主ノ害ト爲ル可キコト而已ナリ
 例ヘハ債主ヨリ分散人エ對シ他ニ保證人ヲ立ツヘキ等ノ求メヲ爲ス
 モノハ畢竟當人一人ノ爲メ其事ヲ慥ニ爲ス迄ノコトニテ他ノ債主ノ
 害ト爲ラサルニ付犯罪トハ爲サ、ルナリ
 故ニ商法ニテハ分散人ト特別ノ計算ヲ爲シタル債主ヲ罰スル而已ニ
 テ其債主分散人ト證人等ノ契約ヲ爲シタルコトヲ罰スル法ナシ之レ
 ハ法律上ノ便利ナリト爲ス
 之レハ多ク分散人ヨリ其事ヲ言出シタルモノナリ然シ他ノ債主ノ害
 ナシ

何故ナレハ例ヘハ二人ニテ契約ヲ爲シタリトモ其後ニ至リ一人ノ債

主ニテ其契約ヲ言出セハ分散人ノ財産ノ外ニ證人丈ケ金高チ出シ他ノ債主モ自ラ金高チ多ク請取ヘク又其一人ノ債主ハ證人ヨリ全額ヲ受取ラン爲メニ必ス言出サ、ルチ得ス故ニ其言出コトヲ要スル爲メニ罰セサルナリ

故ニ之レヲ法律ニ記セサルハ忘レタルニ非ス自ラ主意アル事ナリ然シ債主ノ内ニテ特別ニ己レノ便利ノ契約ハ之レヲ取消スヘキナリ即第五百九十八條ニアリ之レハ第四百四十六條ノ規則ヲ別ニ出シタルモノナリ

然シ第四百四十六條ノコトハ商法裁判所ニテ爲スコトナリ此條ノコトハ輕罪裁判所ニテ爲スコトナリ此條ノ如ク輕罪裁判所ニ訴ヘ出タル時此者ハ罪ナシト爲リタリトモ其上尙商法裁判所ヘ訴出ツルコトヲ得ルナリ

然シ刑法ノ裁判所ヘ言立ツヘキ求刑ノ期限ハ三年ニテ期滿得免ト爲ス然シ其契約ヲ取消スコトニ付テノ願ヒハ三十年ノ期滿得免ト爲スナリ

第六百條ニ於テ總テ是迄說キタル通常ノ倒産又ハ詐偽ノ倒産又ハ其不正ノコトヲ爲シタルコト等ハ商法ノ第四十二條ノ如ク一ツハ新聞紙一ツハ裁判所ヘ張出スヘキナリ之レニテ其倒産ノコトハ了タリ

刑ヲ求ムル言立ト云フハ外ノ刑ト同様ナルヤ總テ輕罪ノ訴ハ三年ト爲シ民事ノ訴ハ三十年ト爲ス商法第四章ハ倒産人ノ財産ヲ支配スル方法ナリ

第六百一條ニ倒産ノ時ハ二ツノ裁判所ニ關スルナリ即商法裁判所ト刑法裁判所ト二ツナリ尤倒産ト定マリタル上ハ刑法裁判所ニ限ルナ

倒産ト爲ラサル以前分散ノ公告ヲ爲ス時ハ商法裁判所ニテ爲スヘキナリ

故ニ倒産ト雖モ通常ノ分散ノ時ト同様ニ管財人又ハ財産ヲ取扱コト等ハ商法裁判所ニテ管轄スルナリ故ニ刑法ト商法トノ二ツノ裁判所ニテ關スル譯ナリ仍テ本條ニハ其權限ヲ定メタルモノナリ故ニ倒産ノ時必ス檢事ニテ其職務ヲ行フナリ其時ハ財産ノコトニモ拘リ其品物及ヒ分散人ノ所持ノ簿冊證書類等ハ一切檢事ニテ檢査スヘキナリ

尤其書類等ハ元來管財人ニテ所持スヘキモノナレモ檢事ニテ見ルキハ商法裁判所ノ書記局ヘ留メ置キ檢事ト管財人トノ雙方ニテ之ヲ見得ヘキ爲メ互ニ不都合無キ様ニ爲シ置クナリ此所ニ治罪法ノ原則ニ

反スルコトアリ

治罪法第四百六十五條ニ刑事ノ欠席裁判ノ事トアリ之レハ吟味中ニ罪人ノ遁ケタル時ハ其罪人ノ居ラサル儘ニ裁判ヲ言渡スナリ其時ハ罪人ノ財産ヲ取上ケテ封印ヲ付ケ財産ヲ守ルヘキモノヲ命シテ之ヲ守ラシムヘキナリ

然ルニ分散人ノ欠席ノ時ハ治罪法ノ原則ヲ用ヒス其財産ヲ取上ケサルナリ之ハ已ニ管財人ニテ管治スルコト故ニ其儘ニ爲シ置ク譯ナリ以上倒産及分散ノ事ヲ説キ了タリ
此次ニ尙一章復權ト云コトアリ

尤詐僞ノ倒産ニハ之レナキコトニテ通常ノ倒産ト分散ニ限ルヘキモノナリ

之レハ分散人ニテ其自分ノ汚名ヲ洗ヒ其權利ヲ復スルコトナリ

之レハ分散人ノ手續ヲ夫々爲シタル上ノコトニテ之ヲ爲シタル上ハ復權ヲ爲シ得ヘキモノトス
之レハ商法ノ分散ニ必ス屬スヘキコトナリ故ニ次會ニ説クヘシ

第六十一號 明治九年二月廿七日

分散ヲ爲シタル商人ハ自分ニ有スル所ノ種々權利ヲ失フコトナリ已ニ説キタリ

今日ハ商法第三卷第六百四條ノ以下ノ商人ノ權利ヲ失ヒタル後ニ其權利ヲ復スルコトヲ説カントス

- 第一 此復權ハ如何シテ復ス可キヤノコト
- 第二 其訴訟ノ手續
- 第三 復權ヨリ生スルコト之ヲ三ツニ分チテ説カントス

第一 分散人ノ權利ヲ復スル方法中最モ急務ナルハ分散人ニテ己ノ負債ヲ拂フヘキコトナリ故ニ之レハ總テ己ノ負債ヲ拂ヒタル上ニアラサレハ決シテ復スルヲ得サルモノナリ

之レハ「コンコルター」ノ後ニ契約ヲ取極メ負債ヲ拂ヒタル時ハ素ヨリ之ヲ拂ヒタルモノト爲スヘキナリ又債主ノ連結ノ時モ同様ナリ

其負債ノ元金利息又ハ訴訟入費等ヲ殘ラス拂ヒタル上ニアラサレハ復權ヲ爲ス能ハサルナリ

此復權ハ總テ分散人ハ之ヲ爲シ得ヘシ

「コンコルター」又ハ債主ノ連結ノ場合ニ於テモ之ヲ爲シ得ヘシ

倒産人ニテモ此復權ヲ爲シ得ヘシ然シ通常倒産ノミコトテ詐偽倒産ニテハ爲スヲ得サルナリ

第六百十二條ニ記シタル如ク其倒産ノ本人而已ナラス其時同様ニ罪

チ犯シタルモノニテ其負債ヲ拂ヒタリトモ復權ヲ爲ス能ハズ詐偽倒産人同様ニ取扱フナリ

商人ニテ會社ニ入タル者ニテ會社モ分散シ己レモ分散シタル時ハ己レノ負債ヲ拂ヒタル而已ニテハ復權スルヲ得ス故ニ己ノ負債ハ勿論會社ノ負債モ拂ヒタル上ニアラサレハ復權スルヲ得サルナリ

會社ノ社員ハ己ノ義務ト他ノ社中ノ義務ト連帶シタル者ニ付己レノ負債ト他ノ社中ノ負債トチ拂ハサル可カラサルコト、爲ス故ニ會社ノ者ノ復權ハ之ヲ重ク爲スナリ

復權ヲ爲スハ分散本人ニテ爲シ得ル而已ナラズ死後相續人ヨリ願出シテ復權ヲ爲スコトナリ即チ第六百十四條ニアリ死後ニ復權スルハ何ノ爲メナリヤトナレハ死人ノ名譽ヲ雪クノ主意ナリ然ラハ其子孫ニテモ父ノ負債ヲ償ヒ其名譽ヲ雪カンコトチ勉ムヘキ譯ニ付其子孫ノ

勉メテ其負債ヲ償ヒ其名譽ヲ雪カンコトチ誘導スル爲メニ法律上ニ於テ定メタルコトナリ

已ニ説キタル分散人ノ復權ハ即チ法律上ニ於テ商法ノ復權ト云フモノナリ又別ニ刑法ノ復權ト云モノアリ之レト混ス可ラス

刑法ニ於テハ重罪ノ科ヲ犯シ實決ノ刑ヲ受ケタル者ハ其刑期ノ後民權ノ全部又ハ幾部分カチ剝奪セラレコトアリ之レモ其行狀ヲ改メ格別ニ謹慎ナルカ又ハ國ニ對シ勳功アル時ハ其民權ヲ復スルコトアリ之レヲ刑法ノ復權ト云フ

此刑法ノ復權ニ付テハ治罪法第六百三十四條ニアリ詐偽倒産ノ者ハ刑法ノ復權ヲ免サ、ルコトアル可シト雖モ商法ノ復權ヲ免サ、ルコトナシ

故ニ詐偽倒産ノ刑ヲ受ケタル者ハ民權剝奪ハ免サル、コトアレモ商

法ノ「フールス」ノ權ハ之ヲ免ルサル、コトナシ
商法ノ權トハ之ヲ原語ニテ「ブールス」ト云フ例ヘハ商人ノ集會所ニ出
ルノ權其他總シテ「ブールス」ノ役人ニ成ルノ權ヲ行フコト能ハサル等
ノコトナリ

復權ノ方法ハ已ニ説キ了リタリ

其手續ヲ説カントス即チ第六百五條ヨリ第六百十一條迄ニアリ

第一ニハ復權ヲ求ムルニハ一ツノ願書ヲ作り控訴院ヘ出スヘシ

其願書ニ加ヘテ是迄其負債金ヲ拂ヒタル受取書ヲ添テ其證據ト爲シ

出ス可キナリ以前ハ此復權ハ國王ヨリ行政權ヲ以テ之ヲ免シタルコ

トナリ

今日ハ之レヲ行政權ヨリハ免ルサス裁判所ヨリ之レヲ免スコト、ナ

リタリ

〇～

此願書ヲ控訴院ヘ出シタル時ハ其檢事ヨリ其寫ヲ作り元ト分散公告
ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ヘ送ルナリ

之レヲ送ル所以ハ其復權ヲ願ヒタルコトヲ其一郡中ヘ通知スヘキ爲
メナリ

之レヲ通知スル時ハ其控訴院ヨリ送リタル願書ノ寫ヲ其初告裁判所
ノ訟庭其外ヘ二ヶ月間張出シ又新聞紙ニテ廣告スルナリ

之レハ全ク是迄貸金アリタル債主其外ノ者ヘ通知スル爲メナリ
尤此張札ハ初告裁判所ト商法裁判所ト兩方ヘ張出スナリ

問 第六百六條ノ譯ニハ商法裁判所ノ檢事云々トアリ然ルニ商法裁
判所ニハ檢事ハ居サル筈ナリ原書ハ如何

答 之レハ譯文中檢事ト上席人トノ字ヲ前後ニ轉置スヘキナリ
即商法裁判所ノ上席人ト其裁判所ノ檢事トニ送達シ云々ト爲スヘキ

ナリ

二ヶ月ノ間之ヲ張出シタル時ハ其期月中ニ於テ總テノ債主ヨリ其復
權ヲ差留ルノ權アリト爲ス

之レハ其負債ヲ未タ拂ヒ了ラサルコトヲ言立其故障ヲ爲スヘキナリ
然シ其二ヶ月ヲ過レハ假令未タ其負債ヲ拂ヒ了ラサル債主アリタリ
トモ其故障ヲ云テ得サルナリ

故ニ二月ヲ過キタレハ其初告裁判所ノ檢事ヨリ其故障ノ有無ヲ通知
スルカ又ハ自分ノ意見ニテ故障ヲ云フヘキモノト爲ストノ定案ヲ付
テ控訴院ノ檢事ヘ通知スヘキナリ

初告裁判所ノ檢事ヨリ控訴院ノ檢事ヘ自分ノ意見ヲ述ルニハ書面ヲ
以テ之ヲ述フヘキナリ

其時ハ控訴院ノ檢事ヨリ言立テ、之ヲ評議スルナリ其時ハ分散人ヲ

呼出サス只檢事ヨリ其事情ヲ言立ツル而已ナリ

故ニ之ハ控訴院ノ裁判官ト檢事長ニテ之レヲ判決スルコト、爲スナ
リ

其分散人ハ必ス呼出サスト爲スハ畢竟其負債ヲ殘ラス拂濟ニ爲シタ
ルヤ否ノコトハ全ク檢事ノ意見ヲ以テ其事實ヲ調ヘ言立タルモノナ
レハ之レヲ分散人ヘ知ラス可キモノコアラサレハナリ

又債主ノ内ニテ其故障ヲ言フモノアリトモ之レヲ必ス遂ケシム可
アラス之レ亦ク檢事ノ意見ヲ以テ定ムヘキコトナリ之レヲ此ノ如キ
規則ニ爲シタルハ何故ナレハ時ニ寄り未タ全額ヲ悉拂ヒ濟ト爲サ、

ル内ニ債主ト分散人ト言合セテ其復權ヲ願出スノ弊ヲ恐ル、故ナリ
例ハ債主ノ故障ヲ言ハサル様ニ分散人ヨリ兼テ依頼シテ之ヲ言合ス
コトアル可キニ付檢事ハ其故障ヲ言フト言ハサルトニ拘ハラス己レ

ノ意見ヲ以テ之レヲ定ム可キモノト爲スナリ
 檢事ニテ己ノ意見ヲ言立控訴院ニテ之ヲ判決シタル上ハ彌其復權ヲ
 免スカ又ハ其願ヲ退クルカノコトニ付二ツノ方法アリ若シ其願ヲ退ク
 ルニハ更ニ之ヲ言渡スヘキナリ
 其願ヲ退ケラレタル時ハ其後一ケ年ノ間ハ再ヒ之ヲ願出ス可カラサ
 ルナリ之ヲ此ノ如ク定メタルハ何故ナレハ分散人ニテ其負債ヲ殘ラ
 ス拂濟ト爲スニハ大抵凡一年モ掛ル可キモノナリ仍テ先ツ一年ノ間
 ハ之ヲ拂ヒ了ラサルコト、見爲ス故ナリ
 假令一ケ年以内ニ之ヲ拂ヒ了ルトモ屢斯ノ如キコトヲ願出サ、ル爲
 メナリ又其願ヲ聞届ケタル時ハ最初通知シタル初告裁判所へ張出シ
 及ヒ新聞紙ニテ廣告シ其分散人住居地ノ裁判所ノ檢事へ通達シ其裁
 判所ニテ本人ヲ呼出シテ之ヲ言渡スヘキナリ

其言渡シタル上ハ控訴院ノ記録及ヒ初告裁判所ノ記録ニ記シ置キ之
 レヲ以テ其復權ヲ爲シタル徴效ト爲スナリ
 復權ヨリ生スルコトヲ説カントス復權ヲ爲シタル上ハ種々ノ事柄ヲ
 生スヘキナリ

即チ分散ニテ生シタルコトヲ復權ニテ取消スト云フコトナリ
 其分散ニテ失ヒタル權利ニハ種々ノコトアリ即公權ヲ失ヒタルコト
 チ取返スヘキナリ其公權ヲ失フトハ民撰議院へ撰マレ又ハ之ヲ撰ム
 ノ權ヲ失ヒ又ハ公證人ト爲リ立會ヲ爲スノ權ヲ失ヒ又ハ刑事裁判所
 ノ陪審ト爲ルノ權ヲ失ヒ又ハ「フールス」ノ「アシヤントシヤンス」ト爲ル
 ノ權ヲ失フ等ノコトヲ云フ然レモ其復權ヲ爲シタル上ハ右等ノ公權
 ハ盡ク取返スヘキモノトス

又商法ノ權利ヲモ失ヒタルモノナレモ其權利ヲ取返スヘキモノトス

商法ノ權利トハ相場會所ノ相場ヲ立ツルヲ以テ第一ノ權ト爲スナリ
 然ルニ分散シタルノ時ハ之ヲ失ヒタルモノナリ故ニ復權ヲ以テ取返
 スコト、爲ス
 尤以前ハ其復權スル迄ハ必ス之ヲ禁シタルモ現今ハ之レヲ禁セサル
 コト、爲スナリ
 又芝居ノ商業ヲ爲ス者ニ限リ分散シタル時ハ復權セサル間ハ必ス之
 ヲ爲スコトヲ禁スルナリ
 他ノ商法ハ其分散後ニテモ之レヲ爲ストモ可ナレモ芝居商業ノ者而
 已ハ之ヲ爲スコトヲ禁セリ然レモ現今ハ分散シタル時ト雖モ總テ其商
 業ヲ禁スルノ法ナシ
 以上ノ二權ハ以前之ヲ禁スルノ法アリタルコトヲ示ス爲メニ一應説
 キ置迄ノコトナリ

又其人ノ榮譽上ニ付權ヲ失フコトアリ之レハ公權商權ノ二ツニアラ
 ス全ク其榮譽ニ關スル權ナリ
 其榮譽ニ權ヲ禁スルコト、爲スナリ
 即チ勳功ノアル者ニ賞牌ヲ政府ヨリ賜リタリトモ分散シテ復權モサ
 ル間ハ之ヲ附ケルヲ得サルモノトス
 故ニ復權スレハ即チ之ヲ附クルヲ得ヘシ
 復權ヨリ生スルコトハ之ニテ説キ了タリ
 分散人ニテ債主其外ノ借金ヲ盡ク拂ヒ終リタル上ハ其人ノ公權又ハ
 商法ノ權榮譽ノ權ヲモ盡ク取返スコトヲ得ヘキコトヲ法律ニテ斯ノ
 如ク委シク定メタルハ畢竟分散人ニテ必用ナラサル負債迄ヲモ拂ハ
 サルヲ得サル様ニ爲シタルモノナリ
 何故ナレハ「コンコルダ」ノ時ハ其何分ノ一ヲ拂フヘシトノ約定ニ付

其約定丈ケヲ拂ヒテ濟マスヘキ譯ナレトモ其求メサル全クノ元金ヲモ
 殘ラス拂フト云ハ其分散人ノ勉強ニアラサレハ爲シ能ハサルモノナ
 リ故ニ其勉強ヲ賞シテ其榮譽ノ權迄ヲモ復シ得ヘキ様ニ定メタルモ
 ノナリ
 分散ノコトハ全ク説キ了タリ
 商法中爲替手形分散等ノコトハ尤肝要ナル故ニ之ヲ先キニ説キタル
 モノナリ
 商法中ニハ尙説クヘキコト少カラサレトモ已ニ定約期滿ニテ不日歸
 國可致ニ付今日ヲ以テ終會ト爲スヘシ是迄ハ格別ノ注意ヲ以テ常ニ
 聽聞セラレタリ故ニ之ヲ實踐ニ施シ便益ナル事アラハ大慶ノ至ナリ

正誤

- 二丁 十一行 (商買)ハ(商賣)ノ誤
- 八丁 十行 (商買)ハ(商賣)ノ誤
- 九丁 七行 (商買)ハ(商賣)ノ誤
- 一三丁 八行 (商買)ハ(商賣)ノ誤
- 二五丁 二行 (ア)レヤン(ハ)アヤンノ誤
- 八〇丁 五行 (會社)ハ(會社ニ)ノ誤
- 九六丁 十二行 (會社ニ)ノ(ニ)贅
- 一一三丁 七行 (第一ハ義ヲ)ハ(第二ハ義務ヲ)ノ誤
- 一四一丁 三行 (タサル)ハ(タサ、ル)ノ誤
- 一六三丁 七行 (一年ト)ハ(一年ノ)ノ誤
- 一七二丁 八行 (了管)ハ(了簡)ノ誤
- 一七二丁 八行 (了管)ハ(了簡)ノ誤
- 一七二丁 八行 (公債證)ノ下(ヲ)贅

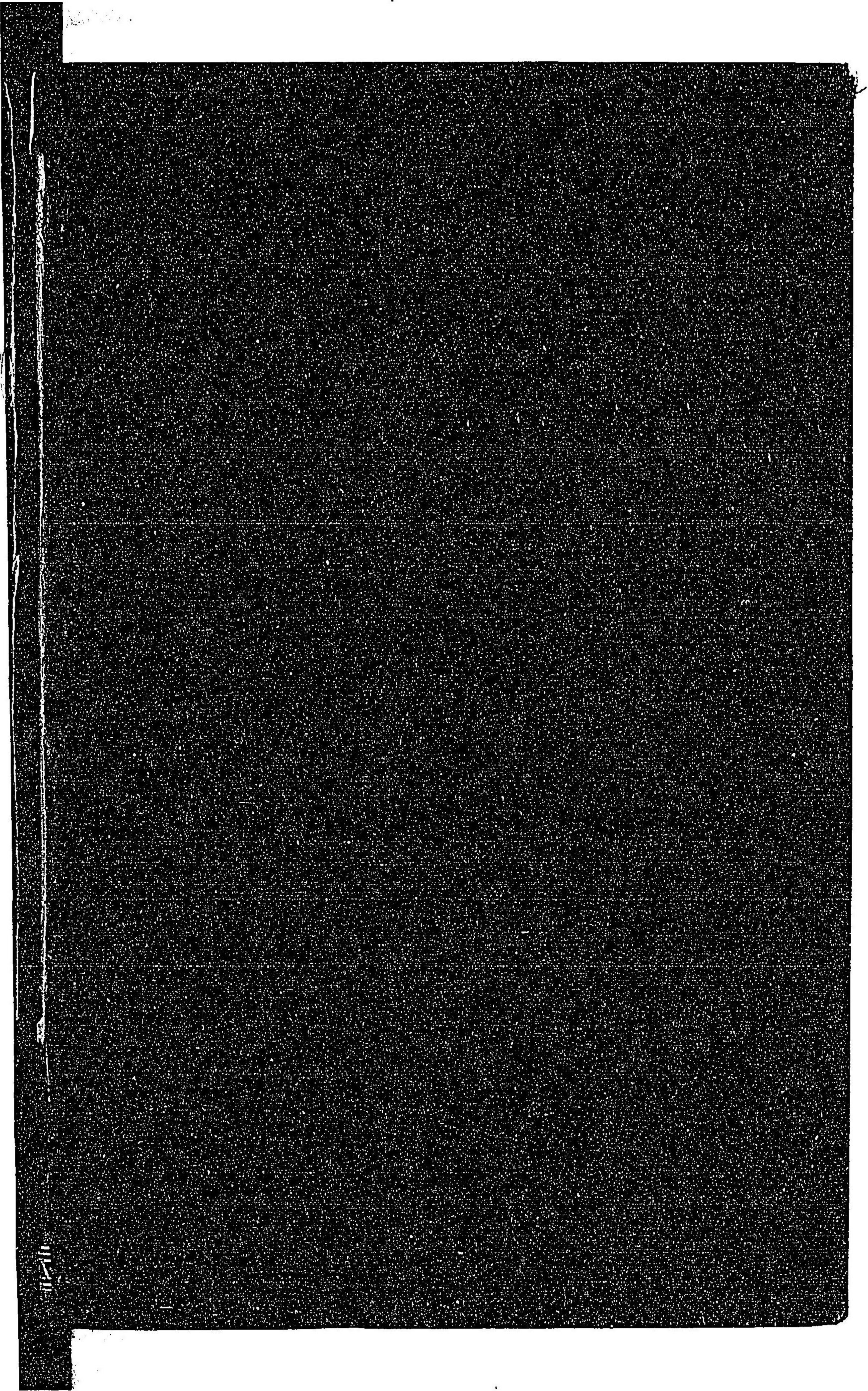
一七七丁	八行	(フ)ラソクノ下(三)脱
二一三丁	十行	(賣)ラソノハ(賣)ラソノ誤
二一八丁	九行	(違)ヒチハ(違)ヒテノ誤
二四三丁	十二行	(博)ノ下(奕)脱
二五一丁	八行	(養)務ハ(義)務ノ誤
二五三丁	九行	(登)記ノ下(ト)贅
二五七丁	二行	(以)ナスルハ(以)テスルノ誤
二六四丁	四行	(代)價ノ下(ノ)脱
二八九丁	五行	(賣)買ノ下(拂)贅
三三九丁	二行	(ト)ハノ上(人)脱
三四八丁	十行	(契)約ナクハ(契)約ナリノ誤
三六二丁	九行	(横)濱人ノハ(横)濱人チノ誤
	九行	(負)債ノ下(主)脱
	五行	(不)能ノ下(力)脱

三六八丁	九行	(驗)ハ(驗)ノ誤
三七七丁	十一行	(定)メサルハ(定)メタルノ誤
三八六丁	六行	(不)通融ハ(不)融通ノ誤
三九〇丁	八行	(丈)ケノハ(丈)ケチノ誤
四三三丁	三行	(モ)ノハ(拂)ハ(モ)ノハ(拂)ノ誤
四五二丁	二行	(求)タルヲハ(求)ムルヲノ誤
五一三丁	十一行	(運)フ業ハ(運)フ等ノ誤
五四〇丁	七行	(名)札ノ下(チ)脱
五九七丁	二行	(逃)亡セシハ(逃)亡センノ誤
六〇六丁	初行	(非)常ナハ(非)常ノノ誤
六一六丁	五行	(コ)トナリハ(コ)トアリノ誤
六二〇丁	初行	(承)諾ハ(承)諾ハノ誤

六三〇丁	二行	(其契ヲ約)ハ(其契約ヲ)ノ誤
七二二丁	二行	(出ヲ)ハ(出テ)ノ誤
七四四丁	八行	(品物)ノ下(ニ)脱
七五八丁	五行	(金額)ハ(全額)ノ誤
七七四丁	四行	(アルヲ)ハ(アルモ)ノ誤
七八九丁	八行	(コトナリ)ハ(コトアリ)ノ誤
七九三丁	八行	(其金)ノ下(高)脱
八二六丁	二行	(簿冊)ヨ(簿冊ヲ)ノ誤
八三二丁	十二行	(其各)ハ(其名)ノ誤
八三三丁	五行	(課ヲ)ノ下(ス)脱
八三八丁	二行	(例)ハ(下)ノ下(債)脱
	四行	(金)ハ(金ハ)ノ誤

正誤終

21
207



21
207

035414-000-6

21-207

仏国商法講義

ブスケノ述

M11

BBO-0601



14.7.14